

環境経営レポート

< 2023年度試行版 >

対象期間： 2023年11月1日～2024年1月31日

< 初版 >

発行日 ： 2024年4月8日



太陽テック株式会社



目次

1.組織概要	1頁
2.対象範囲	2頁
3.環境経営方針	2頁
4.実施体制	3頁
5.環境経営目標	4頁
6.環境経営計画の評価と次年度の取組	5頁
7.環境経営目標の実績と評価	6.7頁
8.環境関連法等一覧表兼遵守状況の確認及び評価の 評価結果並びに違反、訴訟等の有無	8頁
9.経営者の評価と見直しの結果	9頁

1.組織概要

商 号	太陽テック株式会社
所 在 地	本 社 〒870-0113 大分県大分市大字家島1028番地2 TEL：097-535-8505 FAX：097-535-8506 E-mail：info@taiyo-tech.net 日田支店 〒877-0078 大分県日田市北友田1-1432-1 TEL：0973-23-1475 FAX：0973-28-6435
設 立 年 月 日	昭和56年6月16日
資 本 金	2,000万円
代 表 者	代表取締役 神出卓志
社 員 数	16名 1級土木施工管理技士・・・6名
建 設 業 の 許 可	大分県知事 許可（般-3） 第005517号
業 務 内 容	道路標示・標識の設計・施工 道路交通安全施設附属物の施工 法面工事
環 境 管 理 責 任 者 及 び 担 当 者	環境管理責任者 代表取締役 神出卓志 事務局 連絡先 TEL：097-535-8505 FAX：097-535-8506 E-mail：info@taiyo-tech.net

2.対象範囲

認証・登録範囲

全組織・事業活動

3.環境経営方針

基本理念

太陽テック株式会社は、道路標識・路面標識の設置・維持管理を事業の柱としています。

「安心・安全」をテーマに道路の区画線設置及び標識等の設置を主軸とし、「環境への対策」といったニーズにも対応し自主的、積極的に、環境への取組を推進します。

行動指針

1. 次の項目を重点項目として継続して取り組みます。

（１）電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。

（２）廃棄物排出量の削減に取り組むとともに、リサイクル促進に努めます。

（３）水を大切にして、水使用量の削減に取り組めます。

（４）化学物質使用量の削減、適切な管理に努めます。

2. 当社の事業経営に関連する環境関連法規等を遵守いたします。

3. 環境経営レポートの定期発行により、環境情報を公開するとともに、地域貢献活動として弊社周辺の清掃活動を定期的に行い地域貢献活動を推進するとともに、環境経営の継続的改善に努めます。

制定日 2023年 9 月 20 日

太陽テック 株式会社

代表取締役 神出 卓志

4.実施体制

①EA21組織図



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

5.環境経営目標

【各年度の対象期間は、決算年度 5月～翌年4月】

環境経営方針の番号	選択課題	基準年度 2022年度実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量)	129,397 kg-CO2	128,103 △1%	126,809 △2%	125,515 △3%
1-1	電力消費量 (電気消費量)	12,748 kWh	12,621 △1%	12,493 △2%	12,366 △3%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン消費量)	13,975 ℓ	13,835 △1%	13,696 △2%	13,556 △3%
1-3	軽油消費量 (軽油消費量)	25,071 ℓ	24,820 △1%	24,570 △2%	24,319 △3%
1-4	灯油消費量 (灯油消費量)	162 ℓ	160 △1%	159 △2%	157 △3%
1-5	LPG消費量 (LPG消費量)	8,845 kg	8,757 △1%	8,668 △2%	8,580 △3%
2-1	一般廃棄物排出量 (廃棄物排出量)	1,250 kg	1,238 △1%	1,225 △2%	1,213 △3%
2-2	産業廃棄物排出量 (廃棄物排出量)	45,066 kg	44,615 △1%	44,165 △2%	43,714 △3%
3	水使用量 (水使用量)	120 m³	119 △1%	118 △2%	116 △3%
4	化学物質:安全に取 扱われているか	安全に取扱う	安全に取扱う	安全に取扱う	安全に取扱う
5	社会貢献活動	会社周辺 の清掃	会社周辺 の清掃	会社周辺 の清掃	会社周辺 の清掃

CO2係数-----新電力おおいた 2022年度 0.420kg-CO2/kWh(調整後排出係数)

6.環境経営計画の評価と次年度の取組

目標課題	具体的な行動(活動)	評価と次年度の取組
二酸化炭素排出量削減		
電力消費量削減	1. 不必要な箇所の照明を消す。	○：小まめに徹底する。
	2. 自然適温での冷暖房を使わない。	○：窓の開閉で対応。
	3. 空調機フィルターの清掃を行う。	○：大掃除時に徹底する。
	4. クールビズの推進。	○：各部署での適正着の着用。
	5.	
ガソリン消費量削減	1. タイヤ空気圧の確認。	○：点検をキチンと受ける。
	2. エコドライブの推進。急加速・急停車をしない。	○：エコドライブ掲示を行う。
	3. 不要な荷物を降ろす。	○：徹底して心掛ける。
	4.	
軽油消費量削減	1. タイヤ空気圧の確認。	○：点検をキチンと受ける。
	2. エコドライブの推進。急加速・急停車をしない。	○：エコドライブ掲示を行う。
	3. 不要な荷物を降ろす。	○：徹底して心掛ける。
	4.	
一般廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別を徹底する。	○：掲示などを行い徹底する。
	2. リサイクル可能ゴミの確認と周知徹底する。	○：掲示などを行い徹底する。
	3.	
産業廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別を徹底する。	○：掲示などを行い徹底する。
	2. リサイクル可能ゴミの確認と周知徹底する。	○：掲示などを行い徹底する。
	3.	
水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識付けをする。	○：継続してする。
	2.	
化学物質の取扱	1. 事故の無い様に化学物質を安全に取扱う。	○：保管場所など決められた事を守る。
	2.	
社会貢献への参加	1. 会社周辺のゴミ拾い活動を行う。	×：会社周辺の清掃を行う。
	2.	

評価基準：○できた/△できたが改善の余地あり/×できなかった

7.環境経営目標の実績と評価

試行期間（2023年11月～2024年1月）

No.	環境目標		11月	12月	1月	期間計
1	二酸化炭素排出量 前年（基準年度 対比）△1% 単位：kg-CO ₂	基準(前)年度	11,947	18,347	10,706	41,000
		目標値	11,828	18,164	10,599	40,591
		実績	16,509	21,370	11,714	49,593
		結果	△	△	△	△
		評価・今後の 取組み	目標値に達成した項目もあったが、仕事量の増加で全体的に排出量は増加したがエコドライブの徹底を再度呼びかけている。			
1-1	電力消費量 前年（基準年度 対比）△1% 単位：kWh	基準(前)年度	940	1,377	1,231	3,548
		目標値	931	1,363	1,219	3,513
		実績	947	1,112	1,205	3,264
		結果	△	○	○	○
		評価・今後の 取組み	使用量のバラつきが見られるが従業員の意識の変化があり、少量だが減少した。			
1-2	ガソリン消費量 前年（基準年度 対比）△1% 単位：ℓ	基準(前)年度	1,334	2,464	1,013	4,811
		目標値	1,321	2,439	1,003	4,763
		実績	1,113	1,005	926	3,044
		結果	○	○	○	○
		評価・今後の 取組み	軽油使用の重機が増えた事により、ガソリンの消費量が減った。			
1-3	軽油消費量 前年（基準年度 対比）△1% 単位：ℓ	基準(前)年度	2,197	3,364	2,173	7,734
		目標値	2,175	3,330	2,151	7,656
		実績	4,110	5,779	2,395	12,284
		結果	×	×	△	△
		評価・今後の 取組み	現場で使用する重機が増えたが無駄のない重機の使用・エコドライブの徹底に心掛けたい。			
2-1	一般廃棄物排出 前年（基準年度 対比）△1% 単位：t	基準(前)年度	0.1	0.1	0.1	0.3
		目標値	0.1	0.1	0.1	0.3
		実績	0.1	0.1	0.1	0.3
		結果	◎	○	○	○
		評価・今後の 取組み	例年通りの状況。リサイクル率が上がる様にゴミ分別の徹底を継続する。			
2-2	産業廃棄物排出 前年（基準年度 対比）△1% 単位：t	基準(前)年度	0	3.8	4.3	8.1
		目標値	0	3.7	4.2	7.9
		実績	5.1	3	6.3	14.4
		結果	×	○	△	△
		評価・今後の 取組み	産廃の発生する現場が増加したが分別を徹底し、リサイクル可能にして行く。			

No.	環境目標		11月	12月	1月	期間計
3	水使用量 前年（基準年度 対比）△1% 単位：m ³	基準(前)年度	10.0	10.0	10.0	30.0
		目標値	9.9	9.9	9.9	29.7
		実績	11.5	11	10.5	33
		結果	×	△	△	△
		評価・今後の 取り組み	水回り箇所に「節水の協力」を掲示し、 節水を個々で心掛ける。			
4	化学物質 化学物質を安全に取 り扱っているか	基準(前)年度	—	—	—	—
		目標値	安全な取扱	安全な取扱	安全な取扱	—
		実績	実施した	実施した	実施した	—
		結果	◎	◎	◎	—
		評価・今後の 取り組み	所定の場所に保管し、事故なく安全に使用 している。			
5	社会貢献への参加 前年（基準年度 対比）2件以上 単位：件	基準(前)年度	—	—	—	—
		目標値	2	2	2	—
		実績	—	—	—	—
		結果	—	—	—	—
		評価・今後の 取り組み	社会貢献への参加（清掃活動等）は、業務が繁 忙期の為、活動予定が後日になった。			

結果の記載：達成=◎または○（一部課題あり） 未達成=×または△（一部成果あり）

評価は試行期間の実績と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

その際、目標未達成の課題は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

5.産業廃棄物のリサイクル率の期間計は、平均値です。

8.環境関連法等一覧表兼遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

	関係法令	チェック項目	チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・法12条2項、則8条 産業廃棄物の保管基準	産廃の保管場所	事務局	R.6.3.2	適
		・法12条第3項 事業場の外での産廃保管の届出	届出書	事務局	R.6.3.2	適
		・法12条5.6項 産業廃棄物の委託	許可証及び契約書	事務局	R.6.3.2	適
		・法12条の3の1.6.9項 管理票の交付、写しの保管期間	管理票(マニフェスト)	事務局	R.6.3.2	適
		・法12条の3の7項 管理票の知事への定期報告	定期報告書	事務局	R.6.3.2	適
2	建設リサイクル法	・法10条令8条 対象建設工事の届出 ・法16条 再資源化の実施 ・法18条 実施の報告	届出書 マニフェスト 実施記録	事務局	R.6.3.2	適
3	騒音規制法	・法14条 特定建設作業の届出 ・法15条 騒音の規制基準の遵守	届出書 騒音記録、 音記録、情確認 苦	事務局	R.6.3.2	適用工事なし
4	振動規制法	・法14条 特定建設作業の届出 ・法15条 振動の規制基準の遵守	届出書 振動記録、 動記録、情確認 苦	事務局	R.6.3.2	適用工事なし
8	フロン排出抑制法	・法4条 フロン類が適正に処理されるための措置 ・法19条 引渡義務	破壊処理証明書	事務局	R.6.3.2	適
9	労働安全衛生法	・法66条 健康診断の実施	記録	事務局	R.6.3.2	適

○当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
 又、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。
 ○外部からの環境に関する苦情等については、関係機関等から1件もありませんでした。

9.経営者の評価と見直しの結果

【取組と概要】

エコアクション21の取組で節電・節水・エコドライブの意識が高まりつつあります。

エコアクション21の取組によりSDG s の意識も高まり良い循環になって行けばと思います。

【取組の評価】

3ヶ月の取組で全ての項目で目標達成とは、行きませんでした但し現状を把握する事が出来ました。

項目によっては、努力しても数値が改善されにくい面があるため、使用量だけでの評価でなく、効率化の評価・工夫の評価なども取り入れて行きたい。

【今後の取組について】

今後もエコアクション21に関する掲示等をする事によって、社員全員の目に触れ、会社全体でエコに取り組むように意識改革をしていきたい。又、会社全体での周辺地域の清掃活動が実施出来ていない為、早期に実現したい。

エコアクション活動を次年度以降も継続することにより、社会からの弊社に対する評価を高め優良企業としての発展を目指します。

【指示事項について】

環境経営方針でのエネルギーの効率的使用・省エネを掲げておりましたが、現場により使用重機が異なるため、該当年度での軽油の使用量が多くなり、経営環境目標の実績が目標値を大きく上回っている状況に至った。

是正処置としてエコ運転等を徹底するよう再度呼びかけている。

その他試行して間もないため、環境経営方針、目標および計画、実施体制は継続する。